

三重県東員町から送る、みんなをハッピーにする新聞

TOIN GOOD NEWS PRESS

2022 07
とういんグッドニュース新聞 03



ぐっとくる

一株の中でさまざまな色を魅せるグラデーションあじさい（東員町中部公園）

公園



管理人

娘は小さい頃から近所の公園が大好きで、小学4年生になっても「公園の管理人」です。

最近、近所に昔懐かしい駄菓子屋さんができ、娘たちもその魅力に取りつかれて、足しげく通っていました。

春休みになると、元気な子どもたちは1日に何度も公園と駄菓子屋さんの往復。微笑ましい風景でした。

ある日、駄菓子屋さんに、駄菓子の箱が売り出されているのを見ました。お菓子は入っていない、箱のみの商品です。駄菓子を仕入れる時に使われるこの大箱には、かわいいイラストが描かれていて、ふだんはお客さんが手にすることも無いそれは、駄菓子屋さんの遊び心で店頭に並べられていたのです。

同じ日の夕方に公園へ行くと、ベンチにその箱が置かれていました。公園にはもう誰もおらず、どうやら捨てられてしまったようでした。公園のベンチにさみしく置き去りにされたかわいなお菓子の箱は、もとの持ち主を失って、もうすぐ「ゴミ」になろうとしていました。

思わず私が「切ないな」と、つぶやくと、娘が「どうしたの?」と聞きました。わけを話しているうちに、公園内にたくさんのお菓子のゴミがあることに気がつきました。娘は、「わたし拾うわ。だって、公園も駄菓子屋さんも大好きだから」

（ほかの人が捨てたゴミを自分の子どもが拾うのか……）

心の中で一度、考えましたが、（いや、せっかくこの子が自分で考えたことを行動に移そうとしているのに、私が止める理由はないな）

そう思い、家に戻ってゴミ袋を渡しました。そして一緒に公園に戻り、私は手伝うわけではなく、茂みのゴミを拾う娘を見守りました。

それからというもの、娘は時間を見つけては、公園の掃除に出かけるようになりました。そのうちに、娘の姿を見かけた方が労いの声をかけてくださったり、友だちが一緒にゴミを拾ってくれるようになりました。また、別の公園でもゴミがひどいと、友だちに声をかけられ、数人でほかの公園の掃除にまで出かけることもありました。

思ったことを素直に行動に移し、それを見た人が共感してくれて、その輪がさらに大きくなる。娘もそれを実感して、今後の人生においても財産となるような、素晴らしい経験ができていくのではないかと思います。

公園のゴミ問題は、簡単には解決しないとは思いますが、こうした動きが、きつとよい未来を拓いていくものと頼もしく感じています。

（愛知県・あさくらさん・41歳）



5月から東員町内の学校にて、グッドニュースの文・絵の募集がはじまりました。児童のみなさんや先生方から早くも続々と寄せいただいているニュースを、今号からどんどんお届けしてまいります！

親切な人たち

私が、集合場所に行くとき、おうだん歩道をわたるとき、いつも車に乗っている人たちが止まってくれるので、とても心やさしいなと思いました。

もう一つは、毎日登校しているとき、知らない人だからじゃなくて、だれでも関係なく、通りかかったら「おはようございます。」など、あいさつをしてくれるので、とてもすばらしいと思いました。

学校内でも、学年関係なくあいさつするすがたが見え、なぜかとても幸せでした。学年をこえて、仲よくできているなと思いました。

このような人たちがたくさんいます。もっと親切がふえれば、東員町は、もっとべんりで、だれもが安心できる場所になると思います。

（笹尾東小学校・4年生）
▶元気にあいさつするだけで、みんなあたたかい気持ちになれるよね！

あさがお

（稲部小学校・1年生）



▲あさがおがげんきにそだってるのが、とてもよくわかるえだね！

おんせん

わたしは、おばあちゃんといっしょに、おんせんにいきました。わたしは、おんせんが大好きです。

わたしの一番のおたのしみは、おんせんにはいつてからのぎゅうにゅうです。わたしはコーヒーぎゅうにゅうが大好きです。ぎゅうにゅうをのんだら、はーってなるから好きです。

おばあちゃんといくので、おばあちゃんの友だちも、いっしょにはいます。コロナがないときは、おばあちゃんの友だち3人で、はーったときもあります。

コロナで、その友だちと、いもうとと、わたしと、おばあちゃんだけです。コロナがないときのほうがたのしいけど、おんせんにはいるからよかったです。

また、4人だけでなく、たくさんの人ではいりたいです。

（稲部小学校・4年生）
▶またみんなでおんせんに入って、コーヒーぎゅうにゅうを飲みたいね！

ピアノ

わたしは、ならいごとのピアノを、いつもがんばっています。いつも、おとうさんといっしょにやっています。いろいろむずかしいです。ピアノもいっしょうけんめいして、がんばっています。

ピアノのはっぴようかいに2かいでて、ちよっとまちがえたけど、さいごまでがんばりました。おかあさんとも、いっしょにひきました。

（稲部小学校・2年生）
▶えを見るだけできんちようしちゃうけど、さいごまでひけてよかった！



子どものカマキリ

しんごう

しんごうをわたる時に、曲がつてくる車が、まててくれたから、うれしかった。

（稲部小学校・4年生）

▶きつと、とびださずに待っていたから、車も気づいてくれたんだね！

きょうの昼の四時十分、子どものカマキリをつかまえました。

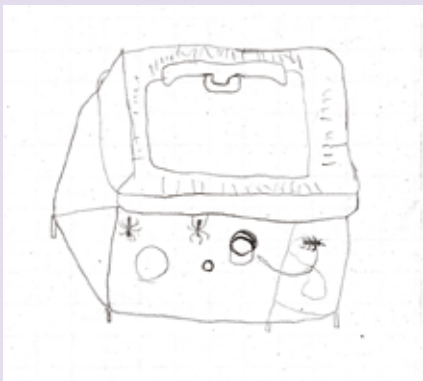
色は、茶色で、さわろうとしたら、びよんとおぶようにはしります。

みつけたばしよは、にわのあじさいのちかくです。

数は、3びきです。

とてもかわいいです。

（笹尾東小学校・3年生）
▶元気いっぱいなカマキリ！大切にそだててあげてね！



ママが早くかえってきた

今日は、ママが早くかえって来て、うれしかった。いつもは5時51分ぐらいにかえって来て、あんまり話せなかったけど、さいきんは早くて、いっばい話せてうれしかった。ママは車のタイヤの中の、まんなかのもようをつくるらしい！（それをぬるらしい。）

ママとのかいわわたし「なんでさいきん、はやいの？」

ママ「中国からくるぶひんが、せんそうでこないし、コロナで人もこないから、ぜんぜんしごとがないの」わたし「へー、やっぱり、よのなかつて、むずかしいね」ママ「そうよ」

って、はなしができて、うれしかった！

（稲部小学校・4年生）

▶たくさんお話ができて、きつとママもうれしかったと思うよ！

我が校のグッドニュース

先日、地域の方からうれしいお電話をいただきました。

学校近くにお住まいの女性の方でした。日曜日の夕方、買い物帰りに中学校の前の道を自転車を通りかけたところ、バランスをくずしてしまい、自転車ごと倒れてしまわれたそうです。そこへ、通りかかった中学生男子が自転車を起こし、散らばった荷物も拾って集めてくれたそうです。

その女性は、おからだが思うように動かない部分があり、そのお話しから、からだを不自由にされているようでした。「今の時代にこんなに優しい、よい中学生がいるものだ」と本当にありがたく、うれしかったのでお電話しました」と言われました。

中学校の教員をしていると、地域の方からいろいろなお電話をいただきます。当然、よいことばかりの電話ではないのですが、こんなうれしいお電話をいただくと、こちらまで心がホッコリとします。そして、地域の方にも誇れる我が校の生徒と、そんな生徒の成長を支えてくれるご家庭のみなさん、我が校の先生方に、感謝の気持ちでいっぱいです。

（東員町立東員第二中学校・理科好きの国語教師）

神田ブルーレイズ、チームワークでナンバー1

5月28日、29日に開催された高円宮
賜杯第42回全日本学童軟式野球大会マ
クドナルド・トーナメントの三重県予



選大会において、東員町内のスポーツ
少年団野球チーム「神田ブルーレイズ」
が見事、優勝を果たしました。

この大会には、三重県内の軟式野球
連盟の11地区から16代表チームが参加
し、今回は、桑名支部、四日市支部が
会場となって開催されました。

桑名支部代表として大会に臨んだ神
田ブルーレイズは、1回戦で鈴鹿支部
代表の加佐登ウイングススポーツ少年
団に6対5で勝利し、2回戦は津支部
代表の栗葉少年野球部に12対11で勝利
して、準決勝に進みました。

私は、大会2日目の神田ブルーレイ
ズの試合を準決勝戦、決勝戦と見るこ
とができました。

試合をバックネット裏から観戦して
いて、特に印象に残ったのは、全選手
がほとんど三振をしないことでした。
ボールを呼び込み、しっかり引きつけ

て打つので、ミートポイントが近いの
です。

これには、次の選手につながるとい
う全選手共通の意識が、よくあらわれ
ているように感じました。まさにチー
ムプレイの賜物ではないかと、すっか
り感心してしまいました。

試合は、準決勝戦で熊野支部代表の
金山スポーツ少年団に5対3で勝利し、
決勝戦では亀山支部代表のスモールス
ポーツ少年団に6対4で勝利しました。

選手みんなが、チームプレイに徹し
ながら、でものびのびとプレイしてい
ました。決して大振りすることなく、
しっかりとミート。このバッティング
で、全国大会でも活躍してほしい。さ

らには、中学校、高校、大学にと、生
涯スポーツとして楽しく野球を続けて
いてもらいたいと期待しています。
(いなべ市・ファーストベースマン・58歳)

娘とパパのつながりを保つポテトサラダ

10年前の11月5日に娘は生まれまし
た。36時間に渡る陣痛に耐えて出産し
てくれた妻に感謝しつつ、あつという
間に10年が経過しようとしています。

現在、娘は小学4年生になり、YO
u Tubeやニンテンドースイッチ

に魅了される日々を過ごしています。
そんな娘ですが、最近では年頃の女の
子ということもあり、私が帰宅しても
「おかえり」、寝る時も「おやすみ」す
ら言うこともなくなってきました。元
気に成長する姿に喜びつつも、父親と
しては、どこか寂しい思いを感じるこ
とが多くなってきました。

ある日、いつものようにニンテ
ンドースイッチをしていた長女が、突然
私に話しかけてきました。「何事か!」
と思つたら、

「パパの作ったポテトサラダが食べた
い!!」
ということでした。ポテトサラダは、
以前に私が作ったことがあるもので、
娘はその時を思い出して、どうしても
食べたくなったようです。私は、とて
も嬉しい気持ちになりました。ポテト
サラダに感謝です!

(川越町・3優のパパ・42歳)



東員町の挑戦

「新産業構想による東員町産ブルーベリー・葡萄を給食へ」

数年前に、東員町で初めて「手作り
ブルーベリージャム」が給食に提供さ
れました。このブルーベリージャムは
東員町内で栽培されたものを給食セン
ターでジャムに調理したもので、町内
保幼小中学校の子どもたち約3000
名が食しました。

この日、給食のワゴンには、クラス
分の濃い紫色をしたつやつやのブルー
ベリージャムが入ったボウル容器が運
ばれました。給食当番さんにより、一
人ひとりのお椀の中に出来たてのみず
みずしいジャムが盛られました。いつ
もなら、ビニール容器に入った市販の
ジャムがお盆の上へのせられ、ビニー
ルの端をちぎり落として、ジャムをパ
ンに押し出して食べていました。しか
し、今回は逆です。パンを手でちぎり、
ちぎったパンをお椀のジャムに付けに
いきます。パンをかじっては、またジャ
ムのほうに付けにいきます。最後はお
椀をパンで拭くようにしてジャムをさ
らえます。紫色に染まっていたお椀で
したが、徐々に元の白色のお椀になっ
ていきます。この日、提供された「手
作りブルーベリージャム」は、とても
インパクトが強く、ブルーベリーの酸
味や食感を味わうことができる、とて
もおいしいものでした。

東員町では、平成26年に国の補助
制度を活用して、荒廃地（耕作放棄
地）の再生を行い、整備した土地を有
効活用することを考えました。その整
備地の中で畑地の利用については、そ
の地質が赤土であったことや高台の場
所であったことから、葡萄及びブルー
ベリーの栽培に着手しました。途中で

ら、就労継続支援A型事業所のシグマ
ファームとういんさんに農園事業をお
願いすることとなりました。シグマ
ファームさんは農福連携の取り組みを
行っている事業所さんで、障がい者の
方が農作業等を行い、賃金を得る場と
なっていると同時に、農業の担い手と
しての役割も果たしています。将来的
に、作物栽培が拡大し商品化され、地
域の特産となれば大きな地域貢献とも
なり、障がい者さんの就労が拡大して
いくことにつながります。実際に、徐々
に就労者が増加しています。

ブルーベリーに関しては、同年、苗
木500株をポット栽培することにし
ました。葡萄はハウス内栽培にして育
てています。予想以上に順調によく育
ち、3年後の平成29年にはたくさん
の実が採れました。この東員町産ブルー
ベリーは、町内の保育園児のおやつ
に利用した
り、子どもた
ちの給食で提
供することが
考えられまし
た。給食セン
ターに搬入さ
れたブルーベ
リーの実は約
100kgで
す。50kgず
つに二分し、
果実の栄養を
丸ごと食べら
れるように、
グラニュー糖
とレモン汁を

ぶどう
入れて、大きな釜でコトコト煮込んで
ジャムにしていきます。調理員さんは
焦がさないように丁寧じっくりと混
ぜます。

このようにしてできた「手作りブ
ルーベリージャム」は、毎年1回9
月に提供されるようになりました。こ
数年続いていましたが、年によつて
は不作のときもあり、そのときには残
念ながら提供されません。毎年楽し
みですので、豊作を願っている次第です。
今年の出来具合はどうだろうと期待し
ているところです。

(東員町立神田小学校・
朝日の差す田園さん)



大木で見た ホタルの優しい光

（東員町・鈴木歩・40代）



5月末、いなべ市の瀬木にホタルを見に行きました。

昔、廃校となった立田小学校では、学校と地域が一体となって、ホタルを育てて川に戻す、という活動をされていきました。その立田小学校に長く勤めてみえた佐藤俊介先生に、ホタルの生態について写真を使った解説をしていただいてから、実際に見に行きました。

観察していると、なぜか車通りの多い、妙なところでも、ホタルがたくさん飛んでいました。

生き物のすることには、必ず理由があります。きっと、エサのカワニナという巻貝がたくさんいる場所なのでしょう。

昔、立田小学校では、児童たちがホタルの研究発表をしていました。ホタルは、4月の雨の日に幼虫が川から陸

ホタルはカワニナを食べる



に上がって土に作りま

その日から平均

気温を積算していき、500度くらいになったところ、成虫が飛び始めるそうです。きっと、水温が上が

ナが稚貝を生む気温にあわせて、ホタルは産卵しているはず

東員町の戸上川沿いの用水でも、よくホタルは飛びま

在住の子どもに「ホタルを探らないで、って看板を立てたよ」と聞きました。いなべ市では、それより1週間ほどずれて、飛んだように思

タルは、気温の変化に敏感な生き物といえるかもしれません。

ホタルも、ホタルが住む川も里も大切にしていきたいと、あらためて思いました。

（いなべ市・ひょうきんどんぶり・39歳）

橋を渡る



母の里は、員弁川の川向こうにあった。盆と正月の母の里帰りや報恩講という年に一度の法事には、妹と私が母の両手にぶら下がるようにして、歩いて橋を渡った。いとこたちと遊べるこ

とや、祖母のくれる駄菓子を楽しみで、踊るような足どりで橋を渡った。そのころ、大社橋は今よりも狭くて小さかった。

50数年前、猪名部神社の春の大祭には馬に跨って橋を渡った。橋の上で、祭りのはじまりを告げる花火の音に驚いた馬が、前足を上げて立ち上がった。

振り落とされれば、欄干を越えて川まで落ちそうだった。橋を渡ってしま

と、神社の急坂を馬で駆け上がる危険



橋を渡った。

2日間の神事をすべて終えて、ろうそくを灯した提灯を手に、馬で橋を渡って帰った。夕闇のせまる橋の上で、疲れ切った馬はもう立ち上がることは

が、終わるさみしさが入り混じる。橋を渡り終えても馬から降りたくなかった。

ここ数年、スポーツ自転車に乗り始めて、自転車

橋を渡る機会がふえた。中学、高校時代には毎日の通

学に自転車でのこの橋を渡っていた。車で渡ればほん

ひとまたぎで越える橋がまた長くなった。橋から川

の上流を眺めると、光る流れの向こうに季節の色を映

した鈴鹿の山並みが連なる。私の原風景だ。ふるさは

（東員町・MARIOBIKE・70歳）

三重ダービー、存分に堪能しました！



カズ見たさに軽い気持ちで取ったチケットだったけど、4対1でヴィアティン三重の快勝！

大先輩に借りたサイン入りのハッピーが、ちょっと気恥ずかしいかな、なんて思っていたのに、それがむしろ誇らしく感じるほどにスタジアムは大盛り上がり。

久しぶりに友人とも会えたり、知り合いにも声をかけられたりして、「一緒にあったんだね〜！」と、思いがけないつながりも実感！ コロナは人と人のつながりを蝕むと思うけど、スポーツはそれをつなぎ合わせてくれるものだ

（桑名市・Be positive!・57歳）

投稿募集

（投稿先）

（お便り）

〒511-0255

三重県員弁郡東員町大字長深 3393

グッドニュース新聞社 記事投稿係

（メール）

info@goodnewspress.co.jp

（ホームページ）



（Facebook）



（Twitter）



とういんグッドニュース新聞は、全国から届けられた身近なグッドニュースでつくられる新聞です。健康と活躍のまち東員町から、毎月ポジティブな話題を発信しています。ぜひ、あなたのまわりのグッドニュースをお寄せください！

投稿の際はタイトル、お名前（ペンネーム）、ご住所、年齢、ご職業をお書き添えください。掲載にあたっては事前にご連絡を差し上げます。

編集室より

児童のみなさんからの投稿も加わって、紙面がにぎやかになりました。日々のうれしかったことや、「こうならいいのに!」と思ったことなど、ぜひなんでも書いてみてくださいね。「学校に出すのは、ちょっとはずかしいな」というときは、ホームページからペンネームを使って送るという裏技もありますよ。

ようやくマスクをはずしてスポーツができる世の中になってきました。でも、テンションが上がりすぎて熱中症で倒れたりしないよう、お気をつけて！